



私立短期大学図書館協議会  
関東甲信越地区協議会会報



※会報のご意見・お問い合わせ

会報担当館：実践女子短期大学図書館 土居道子 (tlib@jissen.ac.jp)

====<目次>=====

- ▼2012 (H.24) 年度関東甲信越地区 総会報告
- ▼2012 (H.24) 年度関東甲信越地区 研修会報告
- ▼『短期大学図書館研究』33号 原稿募集
- ▼事務局だより
- ▼編集後記

▼2012 (H.24) 年度 関東甲信越地区総会報告

- 日時 2012 (H.24) 年 5 月 18 日 (金) 午前 11 時～11 時 30 分
- 場所 鶴見大学図書館 地下 1 階 視聴覚ホール
- 参加 出席 18 館 (20 人)、委任状提出 25 館、 合計 43 館

開会に先立ち、毛利会長より挨拶があり、午後開催の講演会について紹介があった。  
会則第 9 条に基づき会長が議長となり議事を進行した。

議題として、①2011 (H.23) 年度事業報告 ②2011(H.23)年度決算報告・監査報告  
③2012 (H.24) 年度幹事校紹介 ④2012 (H.24) 年度事業計画 (案) ⑤2012 (H.24) 年  
度予算 (案) が提出され審議の結果、すべて原案どおり承認された。

○報告・承認事項

1. 会勢 (2012 年 4 月 1 日現在) 57 館

<退 会> 1 館

ヤマザキ動物看護短期大学図書情報センター

2. 2011 (H.23) 年度事業報告

(1) 総会の開催

日 時：2011 年 5 月 20 日 (金) 11:00～11:40

場 所：共立女子大学・共立女子短期大学 本館 15 階 会議室



[総会風景]

(2) 合同幹事会の開催

- 第1回(合同) 2011年5月20日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第2回(合同) 2011年7月15日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第3回(合同) 2011年8月23日(火) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第4回(合同) 2011年9月13日(火) 戸板女子短期大学図書館
- 第5回(合同) 2011年11月18日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第6回(合同) 2012年1月16日(月) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第7回(合同) 2012年3月13日(火) 鶴見大学図書館
- 第8回(合同) 2012年5月11日(金) 鶴見大学図書館

(3) 地区会報の発行

第51号(2012年3月刊) 地区総会報告、地区研修会報告関係

(4) 地区研修会の開催

日時: 2011年10月21日(金) 12:45~17:00

場所: 戸板女子短期大学 三田キャンパス 6F 607教室

参加: 27館 33名

テーマ: 「図書館サービスのあり方を考える - 利用者志向と読書推進の視点から」

講演1: 毛利 和弘氏

(私立短期大学図書館協議会会長、亜細亜大学・亜細亜短期大学部非常勤講師)

「顧客満足度アップのための図書館サービス—利用者中心志向とは—」

講演2: 安岡 貴美代氏

(敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター事務室長)

「アンケートに基づき読書をする場としての図書館を再考する」

事例報告: 海老澤 彩乃氏 (戸板女子短期大学図書館)

「図書館サービスを考える—戸板女子短期大学の事例紹介」

フリーディスカッション: 進行 毛利和弘氏

「事前アンケートを基に、参加図書館の事例報告を行う」

図書館見学: 戸板女子短期大学図書館見学 (案内: 学生図書委員)

3. 2011 (H.23) 年度決算報告

決算報告書は、協議会 HP (<http://shitantokyo.org/>) 会計報告に掲載。

4. 2012 (H.24) 年度事業計画

(1) 関東甲信越地区協議会研修会

・2012年10月19日(金)

会場: 聖徳大学川並弘昭記念図書館

テーマ: 「図書館サービスのあり方を考える」

講師: 前川和子氏 他

- ・講演と報告に関しては、研究誌『短期大学図書館研究』（ISSN:0388-3663）32号（2013年3月発行予定）への論稿化を依頼する。

(2) 関東甲信越地区協議会会報の発行

- ・52号（2013年3月発行、総会・研修会関係報告）
- ＊協議会HP (<http://shitantokyo.org/>) にPDF化し掲載。

(3) 本部・地区合同幹事会

- ・原則として、年間6回の開催予定（奇数月、5・7・9・11・1・3月）。
- ・臨時の合同幹事会については総会・研修会準備等の都合により随時開催。

5. 2012（H.24）年度 予算書（案）

[収入の部]

(単位：円)

勘定科目	予算額	備考
前年度繰越金	414,774	
交付金	285,000	57館 × 5,000円
助成金	100,000	地区一律
雑収入	226	
<b>合計</b>	<b>800,000</b>	

[支出の部]

(単位：円)

勘定科目	予算額	備考
事業費	<b>230,000</b>	
(内訳) 年次総会費	0	会場費（全国総会と同会場：鶴見大学）
研修会費	200,000	会場費、講師謝礼、幹事・講師等食事代 他
HP 関連費	30,000	会報・名簿等メンテナンス 他
会議費	<b>100,000</b>	総会・幹事会・会計監査の茶菓・食事代 他
事務局費	<b>405,000</b>	
(内訳) 事務・運営費	370,000	幹事交通費、会計監査交通費 他
通信費	10,000	送料（郵便・宅配便・メール便） 他
消耗品費	20,000	事務用品、コピー代 他
雑費	5,000	振込手数料
予備費	<b>65,000</b>	
<b>合計</b>	<b>800,000</b>	

## 6. 2012 (H.24) 年度幹事校と役割分担 (敬称略)

### 【地区協議会】

会 長： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 (毛利 和弘)

事務局： 埼玉東萌短期大学附属図書館 (片野 裕嗣)

戸板女子短期大学図書館 (海老澤 彩乃)

名 簿： 実践女子短期大学図書館 (土居 道子)

会 計： 鶴見大学図書館 (近藤 聡子)

研 修： 上田女子短期大学 (木内 公一郎)

戸板女子短期大学図書館 (海老澤 彩乃)

広 報： 実践女子短期大学図書館 (土居 道子)

鶴川女子短期大学附属図書館 (是枝 真優子)

監 査： 立教女学院短期大学図書館 (篠原 智子)

### 【本 部】

会 長： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 (毛利 和弘)

事務局： 共立女子短期大学図書館 (久保 寿治)

広 報： 新潟青陵大学短期大学部図書館 (高野 聡)

会 計： 山野美容芸術短期大学図書館 (久保田 智弘)

監 査： 日本体育大学図書館 (谷口 豊)

青山学院女子短期大学図書館 (小林 陽子)

## ▼2012 (H.24) 年度 関東甲信越地区協議会 研修会報告

■□テーマ： 「図書館サービスのあり方を考える」

■□日 時： 2012年10月19日 (金) 13:00~17:00

■□会 場： 聖徳大学 川並弘昭記念図書館 香順メディアホール

■□参加者： 40名 (31館)

近年、図書館では「グループ学習室の充実」「飲料水の持込自由化」「静粛エリアとの棲み分」やラーニングコモンズに対応した「場としての図書館作り」など、新しい図書館のあり方が問われている。また、5年後には電子書籍100万冊構想も出版界から発表されるなど、図書館を取り巻く環境の変化も著しく、今後の図書館サービスはどうあるべきかを多面的に真剣に検討されなければならない。このような状況を考え昨年に引き続き「図書館サービスのあり方」を統一テーマとして研修会を開催した。

講演では、①学生はどのようなプロセスを経て社会人になっていくのか。文系短期大学生へのインタビュー調査を踏まえて、図書館としての学生支援サービスのあり方を考える。②図書館がどのように情報発信すればよいか、学生のアンケートをもとに図書館サービスのあり方を考える。という2つの視点から図書館サービスのあり方を事例報告と共に講演していただいた。今回の研修会での学びが、図書館サービス向上の改善・改革に繋がれば誠に幸いである。

### 【講演①】

テーマ：「短期大学生の職業的社会化プロセスと図書館サービス」

講師：木内公一郎氏（上田女子短期大学）

講師の所属する、上田女子短期大学総合文化学科の司書課程とブライダルコーディネーター志望の学生を対象に、在学中3回（1年時3月、2年時夏季休暇中、2年時2月）の聞き取りを行い、学生の希望する職業への動機、関心の変化について聞き取り調査を行い、その結果から学生の職業的社会化を進めた要因として、自ら考え実践する体験や経験を重ねることが大きくかかわっている。図書館は、このような学生の成長を促すための間接的支援（アクティブラーニング支援、課題解決支援、ラーニングコモンズのような学習環境整備）や、直接的支援（インターンシップ、図書館サークル、ボランティア活動、アルバイト）を行うことを求められてきているという報告であった。これからの図書館の役割と、提供サービスについて考えるヒントを提示していただいた講演であった。

### 【講演②】

テーマ：「学生が考える図書館サービスのPR方法：情報サービスを中心として」

講師：前川和子氏（大阪大谷大学）

前川講師が担当する、司書課程科目「情報サービス論」授業の第15回目に、情報サービスのPR活動を講義した際、受講生の2回生から4回生までの学生128名を対象に、アンケートを実施した。質問内容は、学生が「情報サービス（レファレンスサービス）」を知っていたか、もし図書館が情報サービスをPRするにはどのようにすればよいと考えるか、であった。このアンケート内容は、氏の「図書館員は、学生へのPR活動を努力しているのに、学生は知っているのか」という問題意識からであった。

そのアンケートの結果からわかった、学生たちの意見を紹介された。特に「情報サービス（レファレンスサービス）」のPRについては、ポスターやHPの活用にとどまらず、もっと積極的に学校行事でも宣伝した方がいいという意見や、目につきやすい所にパンフレットを置き図書館ではどんなサービスが受けられるかPRするというような提案や、図書館員から学生へ声をかける積極的なコミュニケーションも求められているという学生の意見を紹介された。図書館は、行っているサービスをもっと具体的に説明し、積極的にPRしていくことで、学生の図書館への理解度や認知度を深めることができるのではないかという提案をされた。



【研修会の様子】

▼『短期大学図書館研究』33号（2014.3）原稿募集

ただいま 2014（H.25）年度発行『短期大学図書館研究』33号の原稿を募集中です。図書館に関する研究論文、調査・事例報告、情報・ニュース等、投稿してみませんか？今年こそはと思う方、詳細は私立短期大学図書館協議会 HP（<http://shitantokyo.org/recruitment/>）の研究誌原稿募集に掲載してあります募集要項等をご覧ください。お待ちしております。

▼事務局日より

◎2013-2014（H25-26）年度新幹事校

足利短期大学図書館、女子栄養大学短期大学部図書館、  
上田女子短期大学附属図書館が新幹事校として参加して  
くださいます。



◎「図書館業務の相談窓口」を設置

日々の図書館業務上の個別相談を受け付ける「図書館業務の相談窓口」を設置いたしました。会長が相談窓口になり、質問内容から適任の相談スタッフ（本部理事）が回答・助言いたしますので、メールにてお気軽にご相談ください。

【相談窓口】会長：毛利 和弘 [mouri@asia-u.ac.jp](mailto:mouri@asia-u.ac.jp)

▼編集後記

例年会報に掲載しておりました会計報告については、私立短期大学図書館協議会 HP（<http://shitantokyo.org>）から見るできるようになりましたのでそちらをご確認ください。また過去の会報も HP から見るできるようになりました。今号は 2012 年 5 月に鶴見大学で開催されました総会の報告と、10 月に聖徳大学で開催されました研修会の報告です。  
会報作成に当たりご協力いただきました方々に心からお礼申し上げます。

（実践女子短期大学：土居）

